

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-502748(P2001-502748A)

【公表日】平成13年2月27日(2001.2.27)

【出願番号】特願平10-520001

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 101/16

C 0 8 F 8/30

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 F 8/30

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月19日(2004.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年10月19日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第520001号

2. 補正をする者

名称 チバ スペシャルティ ケミカルズ ホールディング インコーポレ
ーテッド

3. 代理人

住所 東京都千代田区神田駿河台3丁目2番地

新御茶ノ水アーバントリニティ 専特許事務所内

氏名 (6861) 萼 経夫

4. 補正対象書類名

請求の範囲



5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙1の通り補正する。



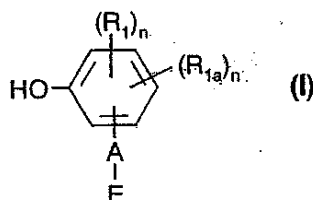
(別紙1)

「

請求の範囲

1. 反応基を少なくとも1つ含む化合物である立体障害性フェノール、立体障害性アミン、ラクトン、スルフィド、ホスフィット、ベンゾトリアゾール、ベンゾフェノンおよび2-(2-ヒドロキシフェニル)-1,3,5-トリアジンからなる群から選択された化合物と、酸基、酸無水物基、エステル基、エポキシ基もしくはアルコール基を含むポリマーである相溶剤化合物か、またはポリエチレン、ポリプロピレン、酢酸ビニルまたはスチレンとアクリル酸とのコポリマーもしくはターポリマーである相溶剤化合物とを反応させることにより得ることが可能なポリマー化合物を混入することにより、少なくとも2種の異なるポリマーからなるプラスチック組成物を安定化させると同時に相相溶化させるための方法。

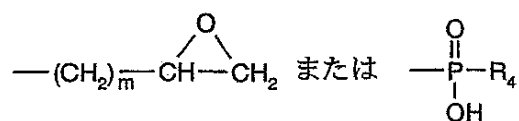
2. 次式 I



(式中、 R_1 および R_2 はそれぞれ互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし25のアルキル基、未置換の、またはOHもしくは／および炭素原子数1ないし4のアルキル基により芳香環において一回もしくは数回置換されたフェニル-炭素原子数1ないし3のアルキル基、未置換の、または炭素原子数1ないし4のアルキル-置換炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基あるいはフェニル基を表し；

n は1、2または3であり；

E はOH、SH、 NHR_3 、 SO_3H 、 $COOH$ 、 $-CH=CH_2$ 、



を表し；

mは0または1であり；

R₃は水素原子または炭素原子数1ないし9のアルキル基を表し；

R₄は炭素原子数1ないし12のアルキル基、または未置換の、もしくは1個または数個の炭素原子数1ないし4のアルキル基、ハロゲン原子もしくは／および炭素原子数1ないし18のアルコキシ基により置換されたフェニル基を表し；

EがOH、SHまたは $-\text{CH}=\text{CH}_2$ を表す場合、Aは $-\text{C}_x\text{H}_{2x}-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{S}-\text{CH}_2\text{CH}_2-$ 、 $-\text{C}_q\text{H}_{2q}-(\text{CO})-\text{O}-\text{C}_p\text{H}_{2p}-$ 、 $-\text{C}_q\text{H}_{2q}-(\text{CO})-\text{NH}-\text{C}_p\text{H}_{2p}-$ または $-\text{C}_q\text{H}_{2q}-(\text{CO})-\text{O}-\text{C}_p\text{H}_{2p}-\text{S}-\text{C}_q\text{H}_{2q}-$ を表し；

xは0ないし8の数であり；

pは2ないし8の数であり；

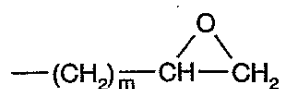
qは0ないし3の数であり；

R₁およびnは上記で定義された通りであるか；あるいは

Eが $-\text{NHR}_3$ を表す場合、Aは $-\text{C}_x\text{H}_{2x}-$ または $-\text{C}_q\text{H}_{2q}-(\text{CO})-\text{NH}-\text{C}_p\text{H}_{2p}-$ を表し、ここではx、pおよびqは上述された意味を有するか；あるいは

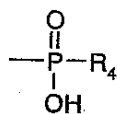
Eが COOH または SO_3H を表す場合、Aは $-\text{C}_x\text{H}_{2x}-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{S}-\text{CH}_2-$ または $-\text{CH}_2-\text{S}-\text{CH}_2\text{CH}_2-$ を表し、ここではxは上述された意味を有するか；あるいは

Eが



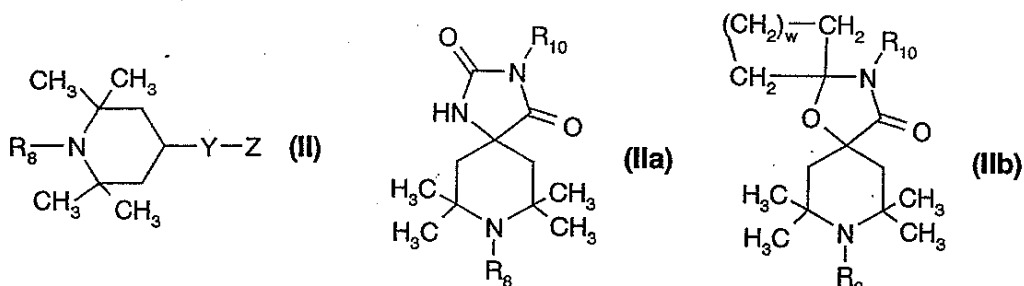
を表す場合、Aは直接結合、 $-\text{C}_q\text{H}_{2q}-(\text{CO})-\text{O}-\text{CH}_2-$ または $-\text{C}_x\text{H}_{2x}-\text{S}-\text{CH}_2-$ を表し、ここではq、m、x、R₁およびR₂は上述された意味を有するか；

Eが

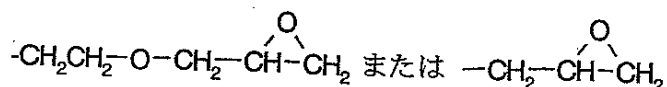


を表す場合、Aは $-\text{CH}_2-$ を表す。) で表される立体障害性フェノール；

または次式 I I、I I a または I I b



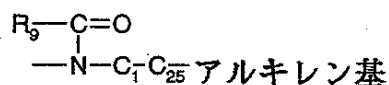
(式中、 R_8 は水素原子、炭素原子数1ないし25のアルキル基、炭素原子数2ないし20のアルケニル基、炭素原子数2ないし20のアルキニル基、炭素原子数1ないし20のアルコキシ基、フェニル-炭素原子数1ないし3のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基、炭素原子数5ないし8のシクロアルコキシ基、フェニル基、ナフチル基、ヒドロキシエチル基、 $\text{CO}-$ 炭素原子数1ないし25のアルキル基、 $\text{CO}-$ フェニル基、 $\text{CO}-$ ナフチル基、 $\text{CO}-$ フェニル-炭素原子数1ないし3のアルキル基、 $\text{O}-\text{CO}-$ 炭素原子数1ないし20のアルキル基または炭素原子数1ないし6のアルキル- $\text{S}-$ 炭素原子数1ないし6のアルキル基、炭素原子数1ないし6のアルキル- $\text{O}-$ 炭素原子数1ないし6のアルキル基、炭素原子数1ないし6のアルキル- $(\text{CO})-$ 炭素原子数1ないし6のアルキル基、



を表し；

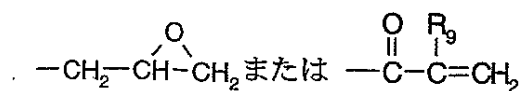
wは1ないし10の数であり；

Yは単結合、炭素原子数1ないし25のアルキレン基、フェニレン基、ビフェニレン基、ナフチレン基、 $-\text{O}-$ 炭素原子数1ないし25のアルキレン基、 $-\text{NR}_9$ 、 $-\text{O}-$ または



を表し；

Zは水素原子、 $-\text{COOR}_9$ 、 $-\text{OR}_9$ 、ヒドロキシエチル基、

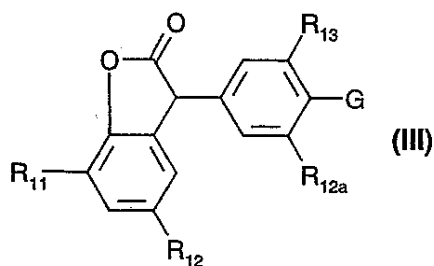


を表し；

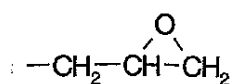
R_9 は水素原子または炭素原子数1ないし12のアルキル基を表し；

R_{10} は R_8 と同様の定義を有する。)で表される立体障害性アミン；

または次式 I I I

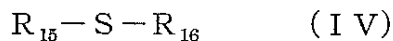


(式中、 R_{11} 、 R_{12} 、 R_{12a} および R_{13} はそれぞれ互いに独立して水素原子、炭素原子数1ないし25のアルキル基、フェニル-炭素原子数1ないし3のアルキル基、炭素原子数5ないし12のシクロアルキル基またはフェニル基を表し；そしてGはOH、 $\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{OH}$ 、

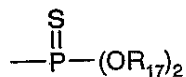


または $-\text{OCH}_2\text{COOH}$ を表す。)で表されるラクトン；

または次式 I V

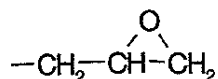


(式中、 R_{15} は炭素原子数1ないし18のアルキル基、ベンジル基、フェニル基または



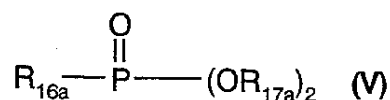
を表し；そして

R_{16} は $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH}$ 、

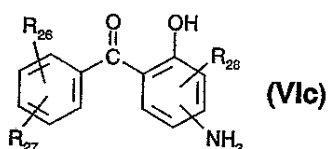
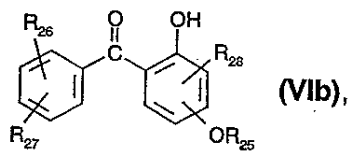
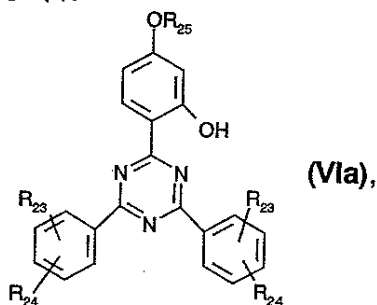
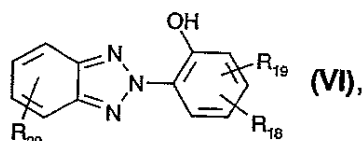


$-\text{CH}_2\text{COOH}$ または $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{COOH}$ を表し；そして

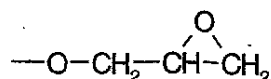
R_{17} は炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、または未置換の、もしくは炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル-置換フェニル基を表す。) で表されるスルフィド；
または次式 V



(式中、 R_{16a} は $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH}$ または $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{COOH}$ を表し；そして
 R_{17a} は炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、または未置換の、もしくは炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル-置換フェニル基を表す。) で表されるホスフィット；
または次式 VI、VI a、VI b もしくは VI c

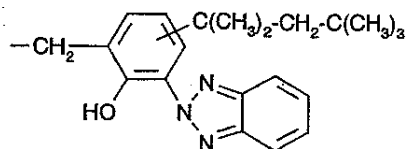


(式中、 R_{18} は $-(\text{CH}_2)_t-\text{R}_{20}$ 、



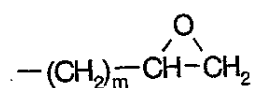
または NH_2 を表し；

R₁₉ は炭素原子数 1 ないし 12 のアルキル基、 α , α -ジメチルベンジル基または基



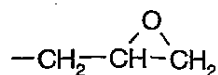
を表し；

R₂₀ は -OH、-SH、-NHR₃₀、-SO₃H、-COOR₂₁、-CH=CH₂、



または - (CO) -NH- (CH₂)_u-NCO を表し；

R₂₁ は水素原子、

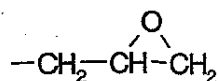


または -CH₂-CH(OH)-CH₂-O-(CO)-R₂₂ を表し；

R₂₂ は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基またはフェニル基を表し；

R₂₃ および R₂₄ はそれぞれ互いに独立して水素原子または炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表し；

R₂₅ は水素原子、-(CH₂)_u-OH、

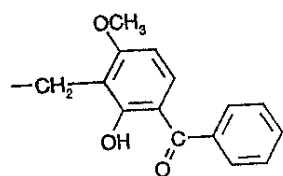


- (CH₂)_uCOOH または - (CO) -NH- (CH₂)_u-NCO を表し；

R₂₆ は水素原子、OH または炭素原子数 1 ないし 12 のアルコキシ基を表し；

R₂₇ は水素原子または OH を表し；

R₂₈ は水素原子または



を表し；

R_{29} は水素原子またはハロゲン原子を表し；

R_{30} は水素原子または炭素原子数 1 ないし 9 のアルキル基を表し；

m は 0 または 1 であり；

t は 0 ないし 6 の数であり；

u は 2 ないし 12 の数である。) で表されるベンゾトリアゾール、ベンゾフェノンおよび 2, 4, 6-トリアリール-1, 3, 5-トリアジンと、酸基、酸無水物基、エステル基、エポキシ基もしくはアルコール基を含むポリマーである相溶剤化合物か、またはポリエチレン、ポリプロピレン、酢酸ビニルまたはスチレンとアクリル酸とのコポリマーもしくはターポリマーである相溶剤化合物とを反応させることにより得ることが可能な化合物。』